

おうちに帰る幸せを、誰もが感じられるように。

家族を想う暗闇エンターテイメント

ダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」が再開

7月16日（木）「ただいま、しあわせ。」スタート！

積水ハウス株式会社とダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン（本社：東京都中央区、代表：志村真介）は、「住ムフムラボ」（グランフロント大阪）にて、暗闇のエンターテイメント「対話のある家」を再開し、第30回プログラム「ただいま、しあわせ。」を7月16日（木）よりスタートします。

開催に先立ち、本日正午よりWEBでのチケット先行販売を開始します。



ただいま、
しあわせ。

対話のある家

誰もが感じられるように、
おうちに帰る幸せを、

2020.7.16thu REOPEN

ダイアログ・イン・ザ・ダーク（以下、DID）は、視覚障がい者の案内により、完全に光を遮断した“純度100%の暗闇”の中で、視覚以外の様々な感覚やコミュニケーションを楽しむソーシャル・エンターテイメントです。これまで世界50カ国以上で開催され、日本では22万人以上の人々が体験しています。再開に際して、アルコールを使用した清掃に加え、プログラム間の空気の入替えや設備による換気を十分に行い、安心してご体験いただける準備を行います。また、1回あたりの体験人数を減らし、アルコール消毒、検温、マスクの着用などにご協力いただき、ご体験内容も感染防止に合わせた新プログラムにして再開します。

お問合せ先 積水ハウス株式会社 広報部 大阪: 06-6440-3021 東京: 03-5575-1740
大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン代表 志村真介 より

「新型コロナ感染拡大により3月から「対話のある家」をクローズしておりました。この間、多くの方から励ましのお言葉をいただき、心より感謝申し上げます。また、チケットの変更などのご協力も有難うございました。

この春は、誰もがステイホームをし、「住まい」や「家族」を深く感じる機会にもなりました。私もその中の一人ですが、ある時、家族のやり取りの中で消えた言葉があることに気がきました。それは「おかえり」そして「ただいま」。

当たり前にあった言葉がなくなった時に、私は「対話のある家」の温かなシーンを思い出しました。ご来場者が一つの家族となり、暗闇の中にある家を訪れる時、最初の言葉は「ただいま」でした。

さあ、私たちの「新しい日常」が始まりました。そこで「対話のある家」も新しい形で再スタートします。安全と安心を更に充実させて、皆様を「おかえり」とお迎えできる喜びをスタッフ一同感じています。」



暗闇で家族のことを想う時間に

「ただいま」「おかえり」「元気にしてた?」。暗闇の中で出会った人と家族となって話をします。おうちに帰る幸せを、誰もが感じられるように、100%の暗闇の中で助け合い、お互いのこと、家族のことを想う、今だからこそこのプログラムです。

ダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」

第30回プログラム「ただいま、しあわせ。」 概要

- 開催場所 : グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル4階 (大阪市北区大深町3番1号) 積水ハウス「SUMUFUMULAB (住ムフムラボ)」
- 開催期間 : 7月16日(木)～8月24日(月)
- 開催時間 : 1日3回開催 11:30～12:40、13:30～14:40、15:30～16:40
- 所要時間 : 70分程度
- 参加人数 : 各回4名様 (先着順・予約制)
- 参加対象 : 小学生以上
- 参加料金 : 大人3,500円/学生2,500円/小学生1,500円 (税込)
- チケット発売 : 6月29日(月) 正午～
- 定休日 : 火曜日・水曜日 ※8月12日(水)は開催します
- 申込方法 : 予約状況確認・申込はWEBから <http://www.sumufumulab.jp/did/>
- 「対話のある家」お問い合わせ事務局 : 0120-39-9683 (11:00～18:00 ※土日祝日除く)

積水ハウスとDIDの共創プログラム「対話のある家」について

積水ハウスは「生涯住宅」の思想のもと、長年にわたり「スマートユニバーサルデザイン」などの研究活動を続けてきました。その一環として、「感じる力」「関係性の回復」「多様性を認める」を目的に、対話する場を提供し続けるDIDとの共創プログラム「対話のある家」を実施。「純度100%の暗闇」の中で、住まいにおける様々な生活シーンを体験し、日常では得られない気づきやコミュニケーション向上の機会を広く提供します。

「わが家」を世界一幸せな場所にする、というビジョンを実現するために、住まいの快適性を深化させる研究にも活かしてまいります。



見て触れて楽しめる
DID「対話のある家」の展示コーナー